

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	構造設計小委員会		主 査 名：竹内 徹 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：小河 利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術と芸術の融合により成立してきた空間構造の設計技術・理念の正しい継承・発展の促進を目的とし、主旨に従って各年度の活動計画を立案する。(全期間中)。</li> <li>・空間構造の構造設計を成立せしめる理論・解析・設計・施工技術の整理・分析・記録を通じ後進技術者・研究者への啓蒙を図る(全期間中)。</li> <li>・新しい設計手法の検証や提案、設計の高度化を目指した活動を行う。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	竹内徹(東京工業大学)、佐々木陸朗(法政大学)、川口衛(川口衛構造設計事務所)、河端昌也(横浜国立大学)、川口健一(東京大学)、坪井善昭(共立女子大学)、金田充弘(東京藝術大学)、大崎純(京都大学)、金箱温春(金箱温春構造設計事務所)、今川憲英(東京電機大学)、植木隆司(巴コーポレーション)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2010 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)、内現地視察 1 回(高知、松山)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 資料「力学と素材に学ぶ空間構造デザイン(仮称)」の執筆を概ね完了し、来年度における「新シェル・空間構造セミナー」の実施の目処を付けた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 前委員会の企画出版物の周知販売が滞っていたが、小委員会および運営委員会内での協力により、概ね解消しつつある。